

2023年9月20日 全8頁

Indicators Update

2023年8月貿易統計

半導体製造装置の輸出管理強化の影響が全面的に表れ輸出金額は減少

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2023年8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲0.8%と2カ月連続で減少した。7月23日に輸出管理が強化された半導体等製造装置の大幅な減少が影響した。季節調整値では前月比▲1.7%と、輸出数量の失速を主因に3カ月ぶりに減少した。輸入金額は前年比▲17.8%と5カ月連続で減少し、季節調整値では前月比▲2.1%と3カ月ぶりに減少した。貿易収支は▲9,305億円と2カ月連続の赤字となった。季節調整値では▲5,557億円と、赤字幅の縮小が一服している。
- 8月の輸出数量は前月比▲6.6%と3カ月ぶりに減少した。OECD景気先行指数に見る外需は悪くないが、輸出管理強化もあって輸出が下振れした。この影響を均して見れば、輸出数量は緩やかに増加している。地域別に見ると、米国向け（同▲1.0%）、EU向け（同▲12.0%）、アジア向け（同▲8.6%）のいずれも減少した。
- 先行きの輸出数量は緩やかな増加基調が続くとみている。半導体不足の緩和による挽回生産が継続する中、主力の自動車や同関連財が輸出を押し上げよう。ただし、米欧ではタイトな金融環境の下で企業の設備投資が下振れしやすく、同国・地域向けの資本財輸出は当面低迷するだろう。また、資本財の主力である半導体等製造装置は輸出管理強化の影響もあって軟調に推移するとみている。総じてみれば、自動車の挽回輸出の一巡後は輸出のけん引役が不在となる可能性が高い。

【貿易金額】輸出の増加ペースの鈍化もあって貿易赤字の縮小が一服

2023年8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲0.8%と2カ月連続で減少した（**図表1**）。鉱物性燃料や半導体等製造装置などが減少の主因だ。半導体等製造装置は2023年に入ってから減少基調にあったが、当月は7月23日から輸出管理が強化された影響が全面的に表れ、同▲36.3%と一段と大きな減少幅となった。金額で見れば、前年同月から1,262億円減少している。輸出金額全体は季節調整値で前月比▲1.7%と、輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）の失速により3カ月ぶりに減少した（**図表2左**）。

輸入金額は前年比▲17.8%と5カ月連続で減少した。品目別では、石炭、液化天然ガス、原油及び粗油などの輸入金額が大幅に減少した。税関長公示レートは同5.3%の円安だったが、資源価格の下落の影響がより強く表れた。とりわけ石炭や液化天然ガスでは同▲40%を超える減少幅となった。輸入金額全体は季節調整値で前月比▲2.1%と3カ月ぶりに減少した。内訳を見ると、輸入数量（大和総研による季節調整値）が減少した一方、輸入価格は下げ止まっている（**図表2右**）。

以上を受け、貿易収支は▲9,305億円と2カ月連続の赤字となった。季節調整値では▲5,557億円と、赤字幅は6月から概ね横ばいで推移している（**図表3**）。このところは、輸入価格の下げ止まりと輸出金額の回復の鈍さを背景に貿易赤字の縮小は一服しつつある。

図表1：貿易統計の概況

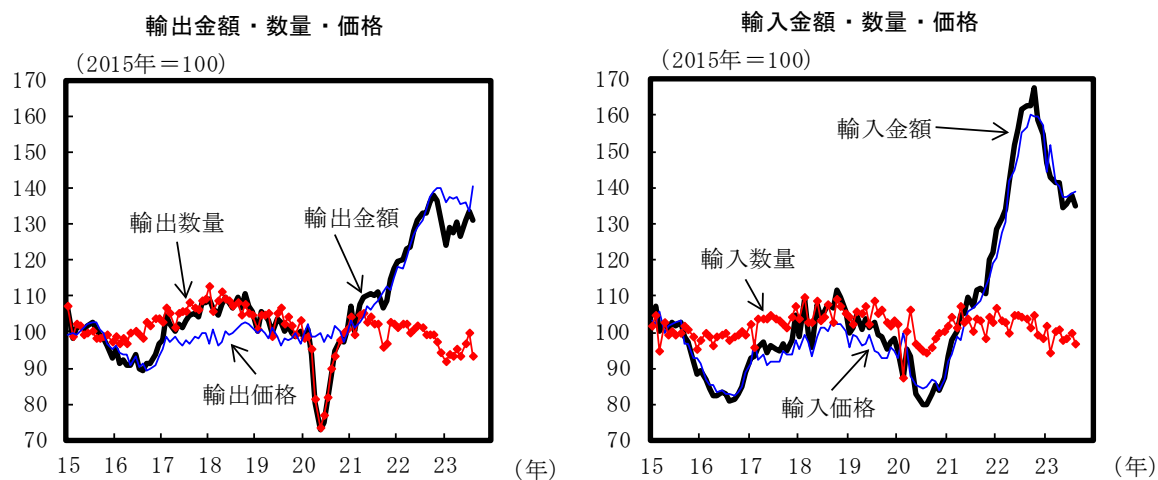
		2022年		2023年						
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
原系列 前年比 %	輸出金額	11.5	3.5	6.5	4.3	2.6	0.6	1.5	▲0.3	▲0.8
	コンセンサス									▲2.1
	DIRエコノミスト予想									▲2.3
	輸入金額	20.8	17.6	8.5	7.4	▲2.3	▲9.8	▲12.9	▲13.6	▲17.8
	輸出数量	▲7.0	▲10.9	▲7.8	▲8.1	▲6.0	▲6.4	▲4.8	▲3.2	▲5.3
	価格	19.9	16.1	15.5	13.6	9.2	7.4	6.6	3.0	4.7
	輸入数量	▲6.4	▲2.3	▲7.9	▲2.6	▲0.4	▲5.2	▲6.0	▲4.4	▲7.3
価格	29.0	20.4	17.8	10.2	▲2.0	▲4.9	▲7.3	▲9.6	▲11.2	
	貿易収支(億円)	▲14,586	▲35,064	▲9,199	▲7,588	▲4,364	▲13,821	392	▲663	▲9,305
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	▲3.6	▲5.5	3.7	▲0.9	2.4	▲3.1	3.4	1.7	▲1.7
	数量	▲3.5	▲2.7	2.6	▲0.7	2.3	▲2.0	3.3	3.5	▲6.6
	価格	▲0.1	▲2.9	1.1	▲0.1	0.1	▲1.1	0.1	▲1.7	5.2
	輸入金額	▲2.5	▲5.2	▲2.5	▲1.0	▲0.1	▲5.1	0.7	1.9	▲2.1
	数量	▲0.8	3.2	▲7.4	6.3	0.6	▲2.8	0.6	1.1	▲2.6
	価格	▲1.7	▲8.2	5.2	▲6.8	▲0.7	▲2.4	0.1	0.7	0.6
		貿易収支(億円)	▲18,345	▲17,581	▲12,247	▲12,011	▲10,052	▲7,905	▲5,777	▲6,002
	税関長公示レート	137.90	132.08	130.38	134.97	132.23	135.31	139.24	142.32	142.23

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

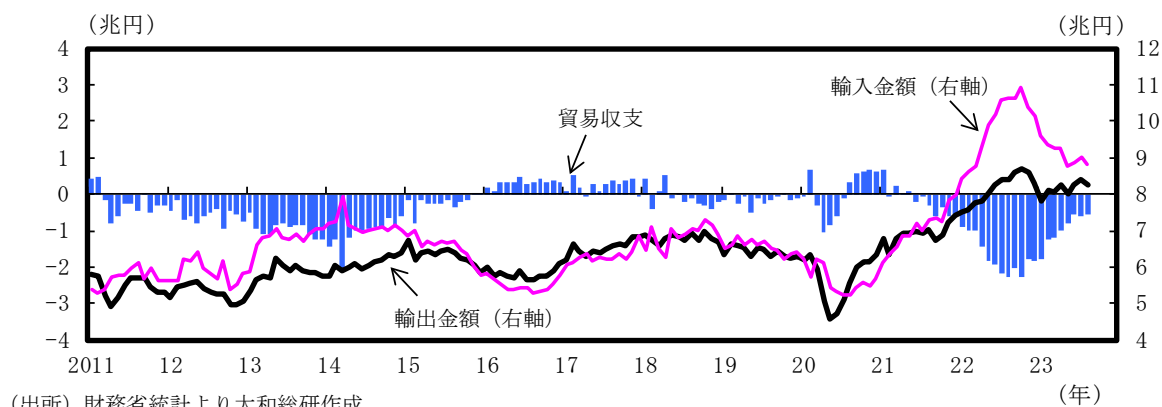
図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】半導体等製造装置の急減の影響が自動車の挽回輸出を上回る

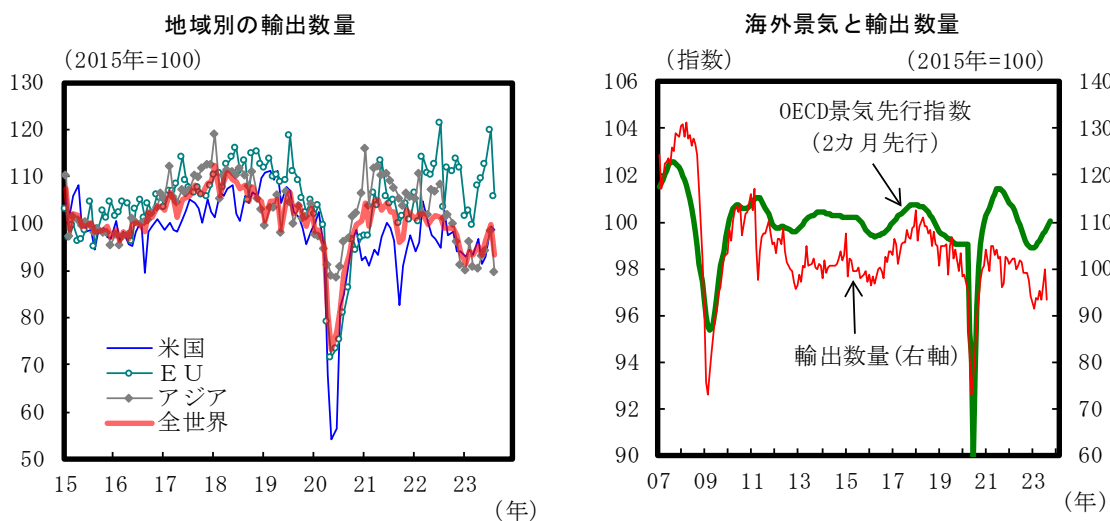
8月の輸出数量は前月比▲6.6%と3カ月ぶりに減少した。7月は半導体等製造装置の輸出管理の強化を控えた駆け込み輸出が発生したが、8月はその反動を主因にアジア向けの同装置の輸出が大幅に減少した。他方、自動車の挽回輸出もあって、これらの影響を均して見た輸出数量は緩やかな回復基調にある。輸出数量指数に先行するOECD景気先行指数は改善が続いており、外需の地合いが悪化しているわけではない点には注意が必要だ（図表4右）。地域別に見ると、米国向け（同▲1.0%）、EU向け（同▲12.0%）、アジア向け（同▲8.6%）のいずれも減少した。

米国向けは3カ月ぶりに減少した。8月に米自動車工場の稼働率が低下したことなどを受け、自動車の部分品や原動機といった自動車関連財が減少した。なお、9月に始まった複数の米大手自動車メーカーにおけるストライキの影響は、8月の結果には表れていないとみられる。その他の品目では、半導体等製造装置が下押し要因となった。CHIPSおよび科学法による補助金を受けた同装置の購入が一巡したことや、政策金利の高止まりなどが半導体メーカーの設備投資意欲を削いでいる可能性がある。他方、自動車輸出は2カ月連続で大幅に増加した。

EU向けは5カ月ぶりに減少した。米国向けと同様に自動車の部分品や原動機、半導体等製造装置が下押し要因となった。また、欧州のファンダメンタルズが弱含む中で、医薬品や二輪自動車などその他の幅広い品目の輸出も減少した。他方、高水準にある鉄鋼が一段と増加したことで全体を押し上げた。自動車は前月から小幅な伸びにとどまった。

アジア向けは4カ月ぶりに減少した。多くの品目が小幅な動きにとどまったが、半導体等製造装置の輸出が急減した。先端半導体製造装置の輸出管理強化の影響で、アジア諸国を含む多くの国への輸出に個別許可が必要となったことや、前月の急増の反動が背景にあらう。その他の品目では、中国向けの自動車輸出が大幅に増加した。もっとも、自動車輸出が中国向けに占める割合は小さいことから、半導体等製造装置の急減を補うほどの影響はなかった。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



【見通し】資本財輸出は引き続きの懸念材料／自動車の挽回輸出の一巡後が正念場

先行きの輸出数量は緩やかな増加基調が続くとみている。半導体不足の緩和による挽回生産が加速する中、主力の自動車や同関連財が輸出を押し上げよう。ただし、日銀短観の結果などを踏まえると、海外市場における自動車のペントアップ（繰越）需要は2023年度中に概ね発現しきる見込みだ。また、米欧ではタイトな金融環境の下で企業の設備投資が下振れしやすく、同国・地域向けの資本財輸出は当面低迷するだろう。資本財の主力である半導体等製造装置については、半導体市場に底打ちの兆しが見られるものの、同装置の輸出管理強化の影響もあって軟調に推移するとみている。総じてみれば、自動車の挽回輸出の一巡後は輸出のけん引役が不在となる可能性が高い。

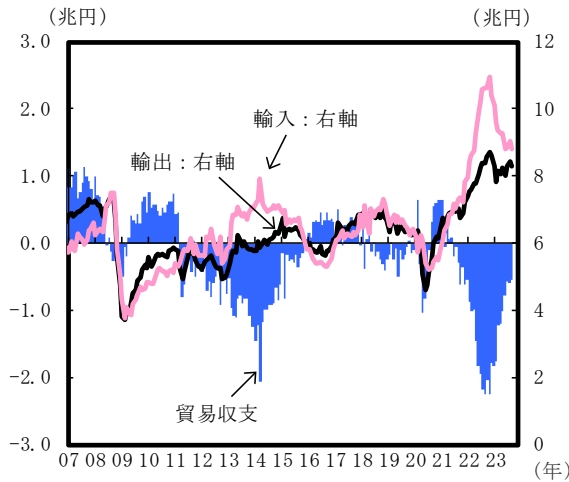
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは横ばいで推移するとみている。米国の8月の食品・エネルギーを除くCPI（コアCPI）は前年比+4.3%とまだ高水準にあるが、7月の同+4.7%からは着実に減速しており、米国は緩やかな景気減速の中でインフレ率を抑制する「ソフトランディング」に近づいているとみられる。短期的には、ファンダメンタルズの緩やかな悪化や高金利を背景とした資本財需要の低迷が日本からの輸出を下押しするだろう。他方、自動車の挽回輸出がこれを一定程度補うとみている。

欧州向けは均して見れば緩やかな増加基調を辿るとみている。欧州のファンダメンタルズは強くないが、このところはウクライナ問題を背景とした鉄鋼製品の代替輸出といった特殊要因が欧州向け輸出を押し上げている。自動車輸出の回復も下支え要因となり、先行きは底堅く推移するだろう。他方、欧州向けの主力である一般機械などの資本財輸出は低迷する可能性が高い。米国と同様に、高金利の下で資本財需要が下押しされるだろう。

中国向けは回復ペースが鈍化するとみている。中国では不動産不況が一段と深刻化しており、日本からの輸出への悪影響が懸念される。ただし、日本から中国向けの不動産関連財の輸出額は大きくない。例えば建設・鉱山用機械の輸出額は輸出総額の0.1%に満たず、(2022年)、不動産不況の直接的な影響は限定的だろう。他方、中国の内需の縮小が日本からの輸出を減速させるなど、間接的な影響は大きいとみている。また、日本による先端半導体製造装置の輸出管理強化の影響は引き続き重しとなるだろう。

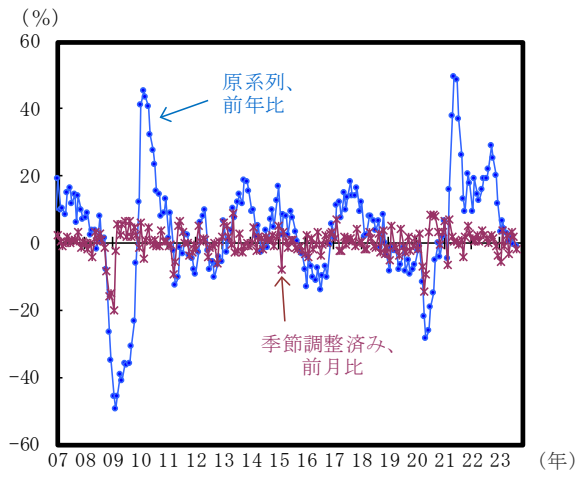
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

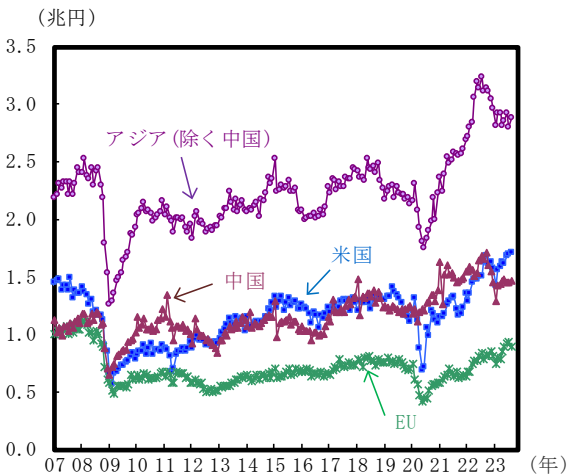


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

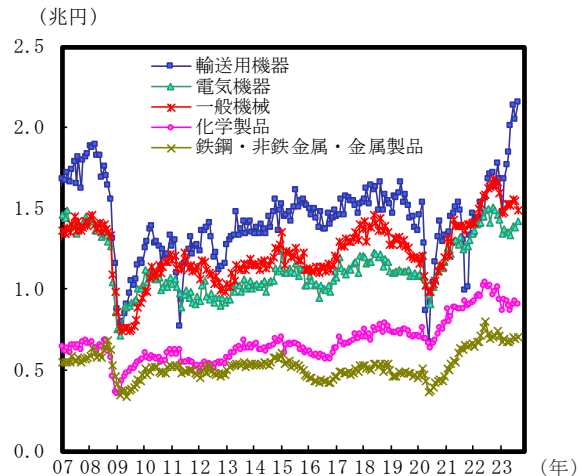


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

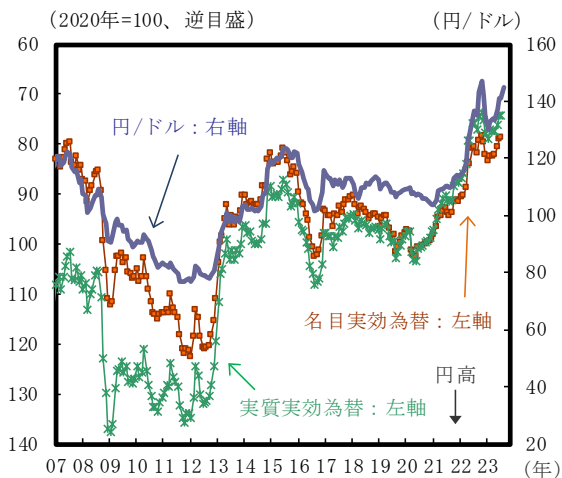


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

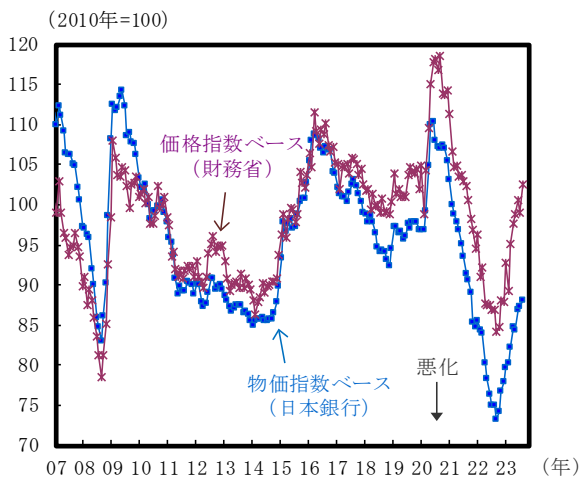


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.3	2.6	0.6	1.5	▲0.3	▲0.8	100.0	▲0.8
食料品	13.1	7.1	6.5	2.2	1.2	▲10.4	1.1	▲0.1
原料品	▲0.8	▲11.0	▲16.0	▲8.2	▲2.5	5.2	1.6	0.1
鉱物性燃料	13.1	▲25.7	▲48.0	▲55.5	▲60.0	▲63.7	1.2	▲2.0
化学製品	▲3.2	▲6.3	▲15.0	▲13.0	▲8.8	▲11.7	10.9	▲1.4
原料別製品	1.1	▲4.3	▲7.5	▲10.2	▲2.7	▲1.1	11.7	▲0.1
鉄鋼	▲0.7	▲3.0	▲10.2	▲16.8	▲4.9	▲3.8	4.6	▲0.2
非鉄金属	10.9	▲9.0	▲8.4	▲8.0	▲0.9	9.1	2.6	0.2
金属製品	▲7.7	▲7.0	▲6.0	▲3.0	0.2	1.0	1.3	0.0
一般機械	1.7	▲0.1	▲3.6	▲1.5	▲4.5	▲9.6	17.2	▲1.8
電気機器	▲4.5	▲4.3	▲8.0	▲6.3	▲7.3	0.1	17.4	0.0
半導体等電子部品	3.2	▲6.5	▲12.1	▲10.7	▲14.8	8.1	6.0	0.4
I C	10.3	▲2.5	▲10.4	▲8.1	▲13.5	15.7	4.5	0.6
映像機器	▲17.8	▲12.4	4.3	▲5.3	▲8.4			
映像記録・再生機器	4.4	12.6	18.7	▲14.2	1.5	17.0	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲15.9	▲4.8	▲13.9	10.2	▲7.8	▲15.7	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲8.4	▲7.2	▲9.5	▲9.2	▲10.5	▲9.6	2.2	▲0.2
輸送用機器	23.0	19.8	38.9	38.0	22.7	25.6	23.7	4.8
自動車	38.3	29.2	66.3	49.7	28.2	40.9	17.9	5.2
自動車の部分品	▲13.6	▲7.4	▲1.7	5.3	10.2	▲1.1	3.9	▲0.0
その他	2.5	10.3	8.5	3.1	▲0.7	▲1.3	15.2	▲0.2
科学光学機器	7.4	12.7	8.3	▲5.6	▲9.8	▲6.9	2.5	▲0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.4	10.5	9.4	11.7	13.5	5.1	100.0	5.1
食料品	▲16.4	▲7.3	▲11.3	▲10.5	23.4	7.8	0.9	0.1
原料品	▲26.6	▲41.6	▲64.8	▲53.4	▲23.3	▲47.6	0.3	▲0.3
鉱物性燃料	112.3	▲50.2	▲74.0	▲58.0	▲52.3	▲77.8	0.4	▲1.4
化学製品	4.5	4.1	▲22.6	▲14.6	3.7	▲25.3	6.6	▲2.4
原料別製品	6.5	0.8	▲6.3	▲9.4	16.0	▲2.2	6.6	▲0.2
鉄鋼	23.2	8.9	11.4	▲30.9	32.3	▲15.7	1.5	▲0.3
非鉄金属	43.7	17.5	▲29.9	▲2.2	12.4	4.6	1.0	0.0
金属製品	▲22.0	▲7.0	▲11.9	▲1.9	17.4	4.4	1.3	0.1
一般機械	0.9	8.3	▲3.2	3.3	▲1.8	▲4.0	22.1	▲1.0
電気機器	▲5.6	10.9	2.6	2.0	12.8	2.7	13.1	0.4
半導体等電子部品	2.0	3.9	▲8.2	▲2.5	4.4	2.4	1.4	0.0
I C	4.9	33.5	▲2.9	18.2	7.5	9.3	0.6	0.1
映像機器	▲8.7	▲6.9	18.5	▲9.2	▲12.3			
映像記録・再生機器	▲17.8	▲5.3	3.7	▲19.5	▲7.8	2.1	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	▲4.3	46.3	27.9	68.0	77.7	35.4	0.2	0.0
電気回路等の機器	4.0	6.7	▲1.0	4.5	10.6	▲6.4	1.2	▲0.1
輸送用機器	37.2	17.7	61.4	44.4	32.9	31.9	37.8	9.6
自動車	59.9	23.1	81.9	56.5	34.1	51.0	30.9	11.0
自動車の部分品	▲24.5	▲0.3	▲1.4	0.4	23.6	▲12.5	5.4	▲0.8
その他	▲5.3	16.2	17.1	14.8	4.8	2.5	12.2	0.3
科学光学機器	20.5	6.7	9.2	6.1	▲5.0	▲6.8	2.5	▲0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.1	11.8	16.6	15.0	12.4	12.7	100.0	12.7
食料品	▲13.6	15.1	6.4	8.3	22.9	16.8	0.6	0.1
原料品	▲19.3	1.4	2.7	0.6	▲17.3	▲4.4	0.9	▲0.0
鉱物性燃料	▲85.3	▲89.8	16.6	▲3.8	▲58.4	▲75.0	0.0	▲0.1
化学製品	▲10.2	▲12.6	▲10.2	▲8.4	▲8.6	▲15.5	10.3	▲2.1
原料別製品	10.2	3.2	7.4	8.5	5.4	28.1	8.2	2.0
鉄鋼	39.3	▲19.2	3.6	15.9	▲1.8	144.3	2.8	1.9
非鉄金属	30.0	55.9	44.6	28.5	5.3	8.9	1.0	0.1
金属製品	▲2.1	0.1	10.9	8.4	15.3	8.8	1.3	0.1
一般機械	▲4.2	▲3.5	3.9	9.2	13.0	1.0	20.6	0.2
電気機器	▲1.5	9.6	▲1.3	1.3	7.9	9.2	16.2	1.5
半導体等電子部品	8.5	13.8	▲1.8	2.0	1.6	15.1	2.3	0.3
I C	▲3.8	6.4	▲14.1	▲12.2	▲19.6	3.7	0.8	0.0
映像機器	11.4	▲10.0	3.5	▲29.1	▲8.4			
映像記録・再生機器	12.0	4.4	10.1	▲31.3	▲1.1	25.6	0.9	0.2
音響・映像機器の部分品	▲32.0	▲24.0	▲45.7	▲27.1	▲32.2	▲29.6	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	7.0	14.1	6.7	5.0	5.1	2.9	1.6	0.0
輸送用機器	27.0	58.5	76.2	63.4	38.1	35.7	28.1	8.3
自動車	79.3	94.8	141.6	78.8	55.3	63.2	21.1	9.2
自動車の部分品	▲24.4	▲10.6	1.5	9.0	23.2	▲7.1	4.2	▲0.4
その他	13.8	12.2	23.8	▲0.3	2.0	19.2	15.1	2.7
科学光学機器	8.0	20.5	4.6	▲9.3	▲9.3	23.1	4.3	0.9

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.1	▲6.3	▲8.1	▲8.4	▲13.3	▲8.8	100.0	▲8.8
食料品	24.5	9.9	11.0	5.9	▲6.2	▲13.8	1.4	▲0.2
原料品	2.3	▲9.3	▲10.7	▲4.8	2.7	10.5	2.6	0.2
鉱物性燃料	▲7.0	▲37.9	▲27.4	▲32.9	▲64.6	▲61.8	1.3	▲1.9
化学製品	▲4.5	▲6.7	▲13.6	▲13.0	▲11.8	▲8.7	14.9	▲1.3
原料別製品	▲2.7	▲11.6	▲15.0	▲14.5	▲11.2	▲5.0	14.8	▲0.7
鉄鋼	▲8.8	▲9.3	▲21.4	▲22.4	▲18.2	▲12.7	5.9	▲0.8
非鉄金属	11.9	▲17.9	▲9.8	▲9.3	▲2.0	8.9	4.2	0.3
金属製品	▲10.4	▲15.1	▲13.3	▲14.5	▲13.3	▲5.4	1.4	▲0.1
一般機械	3.2	▲4.0	▲5.4	▲8.7	▲12.5	▲17.9	15.9	▲3.1
電気機器	▲6.1	▲11.3	▲12.8	▲10.5	▲15.0	▲3.5	22.8	▲0.8
半導体等電子部品	2.8	▲8.3	▲13.1	▲11.3	▲16.3	8.4	10.4	0.7
I C	10.8	▲3.9	▲10.7	▲8.7	▲14.1	16.1	8.1	1.0
映像機器	▲29.5	▲17.0	▲1.0	▲1.4	▲11.2			
映像記録・再生機器	15.2	32.9	33.5	▲1.3	6.2	20.1	0.3	0.1
音響・映像機器の部分品	▲18.1	▲16.9	▲19.4	▲3.0	▲18.0	▲20.3	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	▲11.2	▲12.9	▲14.1	▲13.9	▲16.2	▲13.2	3.1	▲0.4
輸送用機器	▲5.0	▲8.0	14.3	7.9	▲16.2	6.2	8.3	0.4
自動車	▲7.4	▲0.2	39.1	9.2	▲9.4	8.5	4.8	0.3
自動車の部分品	▲8.6	▲18.2	▲9.5	▲4.1	▲9.2	▲0.2	2.7	▲0.0
その他	5.5	6.1	0.2	▲1.5	▲7.2	▲7.8	18.0	▲1.4
科学光学機器	2.8	12.3	9.0	▲11.7	▲12.6	▲13.8	2.7	▲0.4

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.7	▲2.9	▲3.4	▲10.9	▲13.4	▲11.0	100.0	▲11.0
食料品	21.3	7.6	21.2	4.8	▲23.9	▲41.2	1.0	▲0.6
原料品	13.4	9.8	0.6	▲9.3	3.0	20.2	3.0	0.4
鉱物性燃料	44.3	▲25.8	17.8	▲58.2	▲51.3	▲64.3	0.6	▲0.9
化学製品	▲1.8	▲1.6	▲5.7	▲8.9	▲8.7	▲3.0	18.4	▲0.5
原料別製品	▲10.2	▲18.2	▲18.9	▲19.6	▲16.8	▲11.7	12.0	▲1.4
鉄鋼	▲37.8	▲27.2	▲26.5	▲30.2	▲30.1	▲27.8	2.7	▲0.9
非鉄金属	24.4	▲18.9	▲22.5	▲20.1	▲7.8	▲4.2	4.5	▲0.2
金属製品	▲17.8	▲13.5	▲13.7	▲19.3	▲20.4	▲6.7	1.5	▲0.1
一般機械	2.0	9.4	▲3.0	1.2	▲2.8	▲8.6	21.2	▲1.8
電気機器	▲11.3	▲10.8	▲3.2	▲11.7	▲20.6	▲5.1	22.4	▲1.1
半導体等電子部品	14.9	2.5	14.3	▲12.8	▲16.8	25.5	7.9	1.4
I C	33.3	12.5	28.4	▲10.9	▲19.4	39.4	5.7	1.4
映像機器	▲46.9	▲23.9	▲17.5	▲22.0	▲21.6			
映像記録・再生機器	15.5	70.3	36.4	▲4.7	3.4	8.4	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	▲37.9	▲39.5	▲36.8	▲14.4	▲44.1	▲28.6	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲20.1	▲18.6	▲11.7	▲14.9	▲25.2	▲16.5	3.3	▲0.6
輸送用機器	▲48.4	▲28.9	10.3	▲10.1	▲24.6	▲5.8	9.1	▲0.5
自動車	▲62.7	▲27.3	50.5	▲7.6	▲23.5	▲2.3	6.3	▲0.1
自動車の部分品	▲31.2	▲34.5	▲28.1	▲16.6	▲30.5	▲16.8	2.5	▲0.5
その他	▲6.2	26.2	4.9	▲20.5	▲8.9	▲29.4	12.4	▲4.6
科学光学機器	▲2.3	9.3	▲1.2	▲9.7	▲7.8	▲17.6	3.2	▲0.6

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成